

大津絵

おきばくの

2025
9.27^土 - 11.9^日

【開館時間】9時～17時(展示室への入場は16時30分まで)

【休館日】9月29日(月)、10月6日(月)・14日(火)・20日(月)・27日(月)、11月4日(火)

【主催】大津市歴史博物館 【会場】大津市歴史博物館 企画展示室 A

【後援】朝日新聞大津総局、e-radio エフエム滋賀、NHK 大津放送局、共同通信社大津支局、 京都新聞、KBS 京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、
(株)ZTV 滋賀放送局、中日新聞社、日本経済新聞社大津支局、 フジテレビ、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局

【観覧料】一般：800円(640円)、高大生：400円(320円)、小中生：200円(160円)

※()内は、15名以上の団体、市内在住の65歳以上の方、市内在住の障がい者の方、
市内在住の介護保険の要介護者・要支援者の方の割引料金(証明できるものをご提示ください)。
※常設展示も合わせて観覧できます。

(中央)大津絵 鬼念仏 (大津市歴史博物館蔵)

(右)大津絵 長刀弁慶 / 大津絵 藤娘 / 大津絵 外法の梯子剃り 土佐権次筆 /
大津絵 猫と鼠 (いずれも大津市歴史博物館蔵)

(左)鬼念仏 藤娘図 温山良隠筆 / 大津絵 鍾馗 (いずれも大津市歴史博物館蔵) /
大津絵 青面金剛のうち猿 (個人蔵・大津市歴史博物館寄託)



大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2-2
TEL: 077-521-2100
<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

れきはくの大津絵



浮世又平名画寄物 歌川国芳画 大津市歴史博物館蔵



大津絵蔵書票 鬼の三味線弾き 山内神彦画 大津市歴史博物館蔵



大津絵人形 永桑屋製 大津市歴史博物館蔵



竹細工大津絵置物図案 泣花作 (滋賀県物産陳列所関係資料のうち) 大津市歴史博物館蔵

江戸時代、大津町の追分や大谷で街道の土産物として描かれていた大津絵。鬼や藤娘など魅力的な画題は旅人の心をつかみ、その人気は江戸をはじめ全国へと広がっていきました。そして、大津絵はエンターテインメントの世界でも取り上げられるようになり、絵を飛び出して、歌舞伎などの芸能、読み物、流行り唄など、様々なかたちで親しまれ、現在まで大津を代表するキャラクターのひとつになっています。

本展では、開館以来収集を続けてきた大津絵関係の収蔵品約150件を一堂に展示し、これまでの調査研究の蓄積とともに、江戸時代から現在までを通して全国区へと広がった大津絵について、大津での動向とともに紹介します。



無料駐車場 (乗用車約60台)

- 京阪電鉄 石山坂本線「大津市役所前」駅下車徒歩約5分
- JR湖西線「大津京」駅下車徒歩約15分

大津市歴史博物館
OTSU CITY MUSEUM OF HISTORY

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町 2-2

TEL: 077-521-2100

<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>



関連イベント ※詳しくは当館ホームページをご覧ください。

記念講演会・れきはく講座 要事前申込

【会場】大津市歴史博物館1階 講堂	【参加費】500円/各回
【時間】14時～15時30分/各回	【定員】100名/各回
10月18日(土) 大津絵と柳宗悦 白土慎太郎氏 (日本民藝館学芸員)	
10月25日(土) 大津絵を現代に伝える 高橋松山氏 (五代目・大津絵師) / 木津勝 (本館副館長)	
11月1日(土) 大津絵と信仰 クリストフ・マルケ氏 (フランス国立極東学院京都支部長・教授)	
11月8日(土) アメリカの美術館における大津絵 鈴木堅弘氏 (京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター特別研究員)	

スライドトーク 申込不要

【会場】大津市歴史博物館1階 講堂	【定員】100名/各回
【時間】14時～(各回45分程度)	※当日の企画展観覧券が必要。
10月22日(水) れきはくの大津絵 ― 江戸前期から幕末まで	
10月29日(水) 近代のみやげ物としての大津絵	

大津絵と展示内容について、企画展担当学芸員が解説します。

要事前申込

大津絵ワークショップ

スタンプで知る
大津絵キャラクターのアイテム

【日 時】10月19日(日)
【講 師】山田真実氏
(成安造形大学地域実践領域助教)

江戸時代の技法を使って
大津絵のカレンダーを作る

【日 時】11月3日(月・祝)
【講 師】日本大津絵文化協会

【会 場】2階 体験学習室
【時 間】10時～12時/各回
【定 員】25名/各回
【参加費】500円/各回